

科目ナンバリング		U-LAS01 20012 SJ38							
授業科目名 <英訳>	ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール Introductory Seminar on European Social History I				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 福元 健之			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(各論)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	水5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
<p>本演習では、世界的に広く知られる『アンネの日記』の精読と、それを踏まえた研究発表を行う。</p> <p>まず精読に入る前に、『アンネの日記』に関する論稿を読み、精読に際して留意すべきことについて学ぶ。そして、そのうえでテキストを読み、内容について受講者で議論する。このことを通して、特定の文脈のなかで史料を読むという歴史学の基本的な作法を習得することを目指す。</p> <p>『アンネの日記』を読み終わった後は、テキストを読みながら各自で関心を持った問題について調べ、その成果を発表する。発展的に学習することで、『アンネの日記』に関連する20世紀やユダヤ人、ホロコーストなどの歴史に関する理解を深める。</p>									
【到達目標】									
西洋近現代史の基礎知識を学ぶことを通じて、史料を歴史学的に分析する方法の基礎を身につけ、また自らの考えを言語化できるようになる。									
【授業計画と内容】									
授業回数はフィードバックを含めて全15回とする。									
<ol style="list-style-type: none"> 1．イントロダクション 2．『アンネの日記』に関する論稿を読む 3．『アンネの日記』 「はじめての日記」から「事件続出」までを読む 4．『アンネの日記』 「八人めの住人」から「 隠れ家 の時間割り」までを読む 5．『アンネの日記』 「イタリア降伏」から「春のめざめ」までを読む 6．『アンネの日記』 「ペーターへの思慕」から「息づまる恐怖の一夜」までを読む 7．『アンネの日記』 「はじめてのキス」から「ふたりのアンネ」までを読む 8．中間のまとめ 9．発表準備 10．研究発表 11．研究発表 									
----- ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール (2)へ続く -----									

ヨーロッパ歴史・社会論基礎ゼミナール (2)

1 2 . 研究発表

1 3 . 研究発表

1 4 . 総合討論

1 5 . フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

報告の内容、演習中の発言をもとに、平常点で評価する。詳細は初回授業で説明する。

[教科書]

アンネ・フランク 『アンネの日記』 (文藝春秋, 2003) ISBN:9784163596105

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

毎回、決められた文献を読んだうえで出席することが前提となる。テキストの精読に際して留意事項も説明するので、そのことに注意しながら読むこと。

また、研究発表に向けて、テキストを読みながら自分自身がどのような問題に関心をもっているのかをつねに考え、図書館などで調べものをする事。

[その他(オフィスアワー等)]